

サツマイモ基腐病の克服を目指して

油断することなく「今」やるべきこと

今やる！

1

早植えのための育苗の前進化 (温度管理と適切なかん水)

- ◆ 基腐病は、**早植え・早掘り**することで被害を軽減できます。
- ◆ 一方で、さつまいもの**肥大には一定の栽培期間**が必要です。
そのため、**育苗作業を計画的に前進化**しましょう。



早植え・早掘りで
基腐病を軽減し、
収量を確保！！

育苗の
前進化



早植え



生育期間
を確保

青果用120日間
原料用150日間



早掘り



ここがポイント

- ◆ 伏せ込んだ種いもの**腐敗防止**と苗の**生育促進**のために
苗床の保温対策 (温度管理) を行いましょう！
- ◆ 伏せ込み直後～萌芽：28～33℃ ▶ 萌芽後：昼間25～30℃、夜間15℃
- ◆ 温暖な日の午前中に床面が乾かない程度に**かん水**しましょう！



透明マルチで地温を確保



+トンネルで更に地温を確保



適期に必要な本数の苗を確保！！

今やる！

2

異常株の早期抜き取りと持ち出し

- ◆ 定期的に苗床を見回り、**異常株**を見つけたら、
速やかに種いもごと抜き取り、ほ場外に持ち出しましょう！
- ◆ 抜き取った株の周辺には、**銅剤を散布**しましょう！

